

(事例90) 37歳男性、製造業、糖尿病コントロール不良のため交代制勤務禁止

類型	症候	疾患
1、3	1. 高血糖	9. 糖尿病

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 37歳 男性 既往歴：糖尿病</p> <p>2) 業種、作業内容 製造業、製品の充填作業（粉体や液体）</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 糖尿病 (HbA1c10 台)</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 交代勤務禁止</p>		
<p>4. 事例の詳細（背景、経緯、特に考慮した事情など） 産業医として担当した当初の健診より糖尿病（HbA1c 8 台）を指摘されており、産業医面談を行い受診指導を行っていた。面談直後は通院するものの、その後は未受診が続き徐々に悪化。近々の健診にて HbA1c 10 台と悪化を認めたため、上記就業制限を設け、改めて受診指導。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的（複数回答可）</p> <p>1 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p> <p>3 健康管理を促進するため（受診、治療を強く進めるため）</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意したこと、阻害要因、問題点などあれば教えてください。 上司と毎晩のように飲みに行くことがあり、食生活が不規則であった。本人の同意を得て、上司にも病気の件を伝え、上司も理解され回数が減った。また、併せて通院加療を継続的に行うようになった。妻も病院受診に同席され、食事療法での協力が得られ徐々に改善。</p>		